



あなたもできる学会発表！

～抄録作成のコツ～

公益社団法人  
神奈川県理学療法士会  
学術局 研究支援部

研究報告編



公益社団法人  
神奈川県理学療法士会  
Kanagawa Physical Therapy Association



# この動画の目標

## 1. 研究報告の抄録作成の ポイントがわかる



# 抄録の構造（研究報告）

## ◆ 背景（Background）・目的（Objective）

研究の背景や目的を簡潔に示します。

研究の意義や研究に取り組む理由などを記載します。

## ◆ 方法（Methods）

研究に使用した方法や手順を簡潔に示します。

対象、サンプルサイズ、使用した技術やツールなどを含めて記載します。

## ◆ 結果（Results）

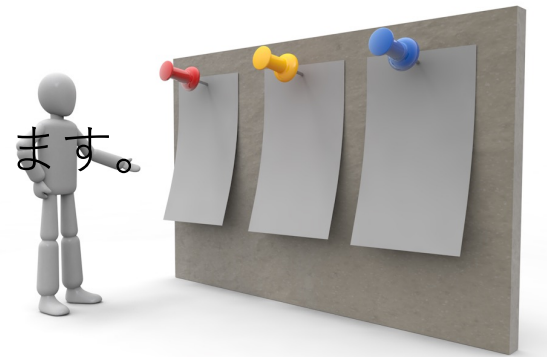
研究で得られた主要な結果や発見を簡潔に示します。

定量的なデータや定性的な観察結果を含めて記載します。

## ◆ 考察（Discussion）・結論（Conclusion）

得られた結果から考えられることを示し、結論や示唆を述べます。

研究の課題や将来的な応用、さらなる研究の発展性も記載します。



# 抄録作成のコツ（研究報告）

## ■抄録は物語（ストーリー）

### 簡潔性

文章の主語と述語は明確に書く。文章は短く簡潔に書く。

### 論理性

文章の流れが論理的で、誰が読んでもわかりやすく書く。

### 客観性

主観的な表現は避け、客観的な表現を書く。

### 正確性

研究内容を正確に書く。誤字脱字、特に扱う用語や数値に注意する。



# 抄録作成のコツ（研究報告）

## ■ 『タイトル』の書き方

- ✓ 研究の内容を**簡潔**かつ**明確**に記載する
- ✓ 研究の**キーワード**を含める
- ✓ 研究の**対象**を明示する
- ✓ 研究の**介入**や**結果**を強調する



『タイトル』は、**一目で発表の内容を表現できる**タイトルを考えよう。



# 抄録作成のコツ（研究報告）

## ■ 『背景・目的』の書き方

- ✓ 研究の**背景と課題**を明示する。  
先行研究を網羅的に調べ、現状と課題は何か？なぜ研究に至ったのか？  
医学中央雑誌やPubMedなどを活用して国内外の情報を収集しよう。
- ✓ 研究の**意義や目的**を明示する。  
研究で何を明らかにしたいのか？研究の意義はなにか？  
理学療法の意義、社会的な意義を熟考しよう。



『背景・目的』は、**背景・課題・意義・目的**を簡潔に記載しよう。



# 抄録作成のコツ（研究報告）

## ■ 『方法』の書き方

- ✓ **対象者の特性**を記載する

研究のデザイン、対象者の数、年齢、性別、対象の取り込み基準や除外基準を記載しよう。

- ✓ **比較検証する情報**を記載する

何の情報をどのように評価・取得したのかを記載しよう。

- ✓ **群分けと検証手法**を記載する

どのように群分けしたのか基準を含めて記載しよう。

統計学的解析の方法について記載しよう。



『方法』は、**読者が再現できるように**記載しよう。



# 抄録作成のコツ（研究報告）

## ■ 『結果』の書き方

- ✓ **結果を客観的**に記載する

扱うデータの尺度や単位、小数点の扱いに注意して記載しよう。

数値データの場合は「平均値と標準偏差」or「中央値と四分位範囲」を記載しよう。

名義データの場合は「個数と比率」を記載しよう。

統計学的解析の結果は「統計手法」に合わせて記載しよう。

- ✓ **著者の考え**や**結果の解釈**は**記載しない**（考察に記載する）。

著者の考察と混ざらないように注意しよう。



『結果』は、研究で得られた結果だけを  
**具体的かつ簡潔に**記載しよう。





# 抄録作成のコツ（研究報告）

## ■ 『考察・結論』の書き方

- ✓ **論理的かつ客観的**に考える  
自己の感情や先入観に左右されず、論理的かつ客観的に記載しよう。
- ✓ **エビデンス（EBM）**に基づいて考える  
最新のガイドラインや論文と照らし合わせ、自らの考えを記載しよう。
- ✓ **多面的**に考える  
複数の視点から介入結果について記載しよう。
- ✓ **研究の目的と一緒に**まとめる。  
目的が結果から明らかになったことを結論として記載しよう。



『考察・結論』は、科学的な裏付けに基づいて**論理的に自らの考え**を記載し、**研究目的と合わせて**結論を記載しよう。



# まとめ

## ■抄録作成のコツ！！

『抄録』は、物語（ストーリー）、**簡潔性、論理性、客観性、正確性**を意識しよう。

『タイトル』は、**一目で発表の内容を表現できる**タイトルを考えよう。

『背景・目的』は、**背景・課題・意義・目的**を簡潔に記載しよう。

『方法』は、**読者が再現できるように**記載しよう。

『結果』は、研究で得られた結果だけを**具体的かつ簡潔に**記載しよう。

『考察・結論』は、科学的な裏付けを基づいて**論理的に自らの考え**を記載し、  
**研究目的と合わせて結論**を記載しよう。



# 第41回神奈川県理学療法士学会

学会HPにジャンプ

CLICK

挑戦か安心か

変化する社会で生き抜く理学療法士の見つけ方

第41回神奈川県理学療法士学会

The 41st congress of Kanagawa Physical Therapy Association

<https://congress-kpta.jimdofree.com>

学会HPのQRコード



公益社団法人  
神奈川県理学療法士会  
Kanagawa Physical Therapy Association

